



各位

2021年3月30日

会社名 東京コスモス電機株式会社

代表者名 代表取締役社長 岩崎 美樹

(コード番号 6772)

問合せ先 常務取締役管理本部長 飯嶋 正明

(TEL 046-253-2111)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2021年3月30日開催の取締役会において、中期経営計画(2021年4月～2024年3月)を決議いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

1) 当社事業分野の市場環境(2021年4月～2024年3月)

① 全体

コロナ禍の影響の長期化

✓自動車市場の正常化には2年～3年かかる見通し

✓材料の調達環境の悪化

脱炭素社会加速による車載(EV化加速)と自動運転化

通信媒体変化とDX促進によるIT市場変化

② 可変抵抗器

セキュリティ対策やクラウドストレージの浸透で通信市場が伸長

世界需要は横ばい

③ 車載用電装部品

ADAS及び自動運転におけるカメラ増量等によるヒーター製品の展開余地

車載事業における接触式から非接触式にシフトの流れ

小型化・低消費電力ニーズの高まり

2) 経営課題

① 構造改革

販売収益の改善

固定費削減

業務の効率化・物流整流化

キャッシュフローの改善

② 新規事業領域の開拓と新製品開発

市場環境・需要変化への対応商品開発

協業及び産学協同による新市場創造

トータル品質の向上

3) 事業計画

単位 百万円

	2019年度 実績	※1	2020年度 予測	2021年度 計画	2022年度 計画	2023年度 計画
売上高	8,933		7,650	8,100	8,500	8,700
営業利益	187		△40	120	310	440
営業利益率	2.3%		△0.5%	1.5%	3.6%	5.1%
経常利益	105	※2	90	80	270	400
経常利益率	1.2%		1.1%	1.0%	3.2%	4.6%
税引前利益	76	※3	△210	80	270	400
当期利益	41		△300	30	180	280

※1、2021/3 予測は2021年3月15日現在予測

※2、2021/3 予測に営業外収入として補助金124百万円を含む

※3、2021/3 予測に特別損失として構造改革費用300百万円を含む

4) 事業戦略と主な施策

① 営業戦略 ビジネスモデル変革と収益向上

既存・新規ビジネスの収益改善

受注の選択と集中・収益管理強化

アジア市場の販売体制構築

✓中国販売体制の構築・アセアン・インド市場チャネル（販売店）開拓

新製品・新分野・新商材の開拓

✓脱炭素社会貢献分野・自動運転・AI(各種自動化・ロボット分野)

② ものづくり戦略 環境・自動運転への対応

ヒーター

✓自動運転に向けた視認性確保に対する製品開発

✓燃料電池車両に向けた製品開発

✓環境規制に対応したHV車載製品の開発

角度センサ

✓環境規制に対応した商品の新規開発

可変抵抗器

✓SMD化商品の拡充

✓環境にやさしい半田レス製品の開発

生産子会社運営の効率化

✓SCMの再構築・生産技術力改善と強化

トータル品質の向上

✓コーポレートQMSの立上げ

③ その他戦略

構造改革に伴う業務の見直し

有利子負債削減

以上